

平成26年11月

平成26年 7月 ~ 9月期 実績
平成26年 10月 ~ 12月期 見通し

中小企業景況調査報告書

岩手県商工会連合会

主要景況項目の動き	2
業況天気図	3
全産業の推移	4
製造業の推移	7
建設業の推移	11
小売業の推移	15
サービス業の推移	19
全産業の過去データの推移 * 平成15年1月以降	23
[集計資料]	

D・Iとは

D・Iとは、ディフュージョン・インデックスの略です。これは、企業経営者の景気動向を表す指標として利用されています。

算出方法は、増加（上昇・好転）企業割合から減少（低下・悪化）企業割合を差し引いたものです。

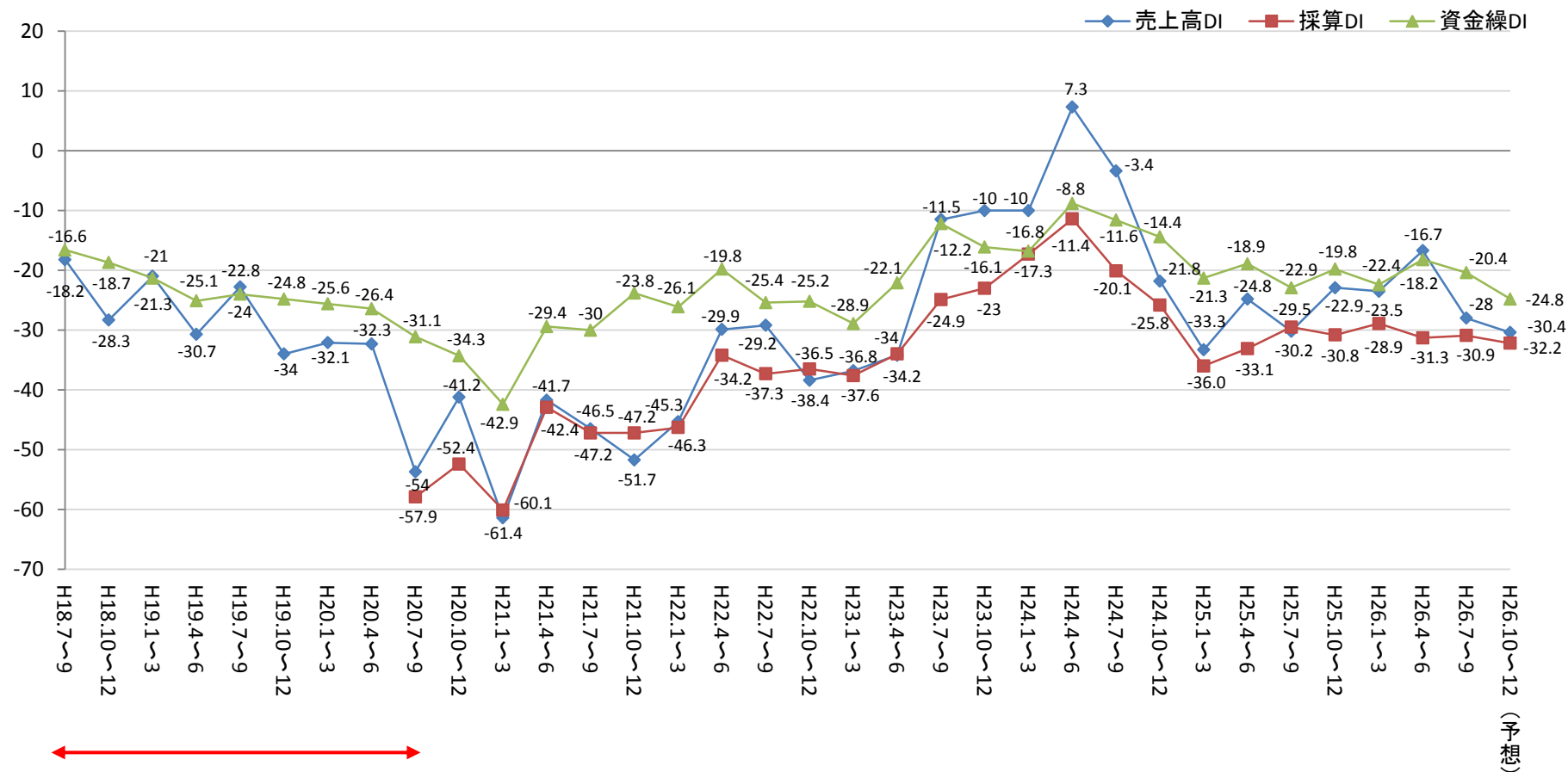
D・Iがプラスなら強気（楽観）、マイナスなら弱気（悲観）、原材料または商品の仕入単価の場合はプラスなら上昇気運、マイナスなら低下気運となります。

プラス、マイナス同数の場合はD・Iはゼロになります。

たとえば、売上高増加企業50%、不変企業30%、減少企業20%の場合、D・Iは $50 - 20 = 30$ となり、全体として経営者の売上高に対する強気の度合いを表しています。





































[岩手県 産業全体]






主要景況項目の動き ー前年同期比ー



採算DIについては全国連にデータなし

業 況 天 気 図

業 種 \ 期 間	平成24年	平成25年				平成26年			(見通し)
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
製 造 業	 雨	 雨	 雨	 曇	 薄曇	 曇	 薄曇	 薄曇	 雨
建 設 業	 晴	 薄曇	 薄曇	 晴	 晴	 快晴	 快晴	 薄曇	 晴
小 売 業	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨	 曇	 雨	 曇	 雨
サ ー ビ ス 業	 曇	 曇	 曇	 曇	 雨	 雨	 曇	 曇	 雨

売上高DI	100.0 ~30.1	30.0 ~10.1	10.0 ~△10.0	△10.1 ~△30.0	△30.1 ~△100.0
表 示	 快晴	 晴	 薄曇	 曇	 雨

全産業の推移

売上高

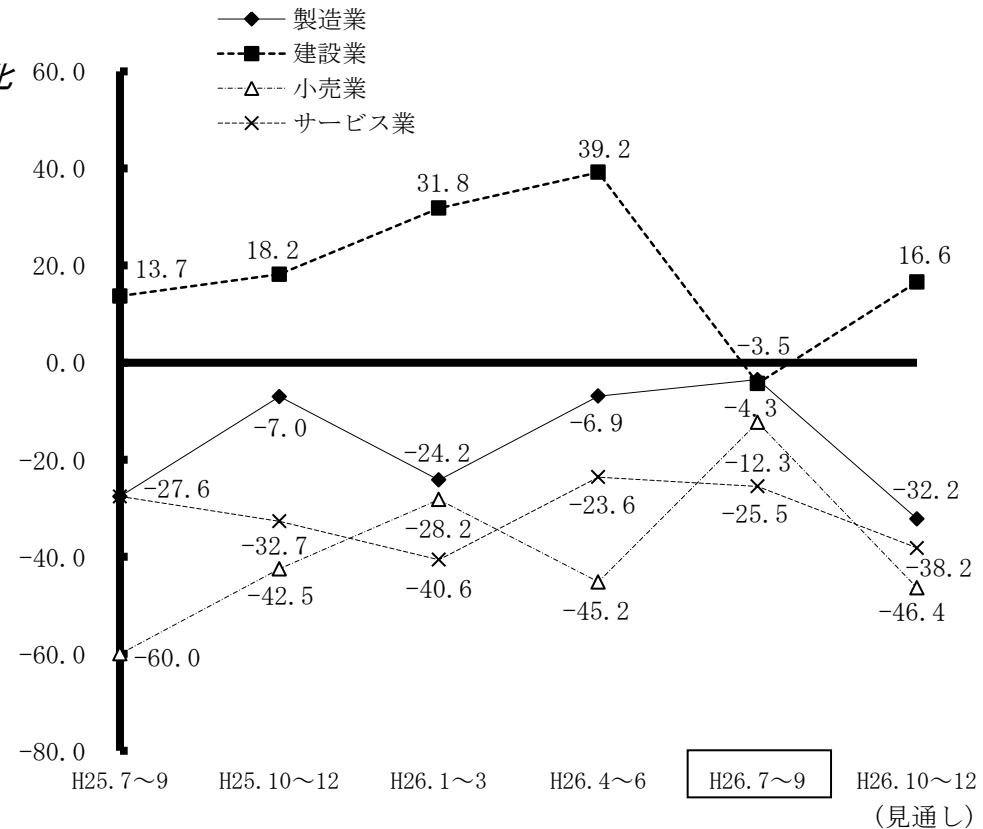
小売業では大幅に回復、建設業が6期ぶりの悪化

今期は、小売業において、32.9ポイント上昇の△12.3に大幅に回復し、製造業においても、2.6ポイント上昇の△4.3と2期連続で回復しました。

一方、建設業においては、42.7ポイント減少の△3.5に大幅に下落し、6期ぶりの悪化となり、サービス業においても、1.9ポイント減少の△25.5に悪化しました。

来期は、建設業において20.1ポイントの増加と、大幅に回復すると予想しています。

また、小売業においては34.1ポイント、製造業においても27.9ポイントと急激な悪化を見込んでいます。



※建設業の売上高は完成工事高

全産業の推移

採算

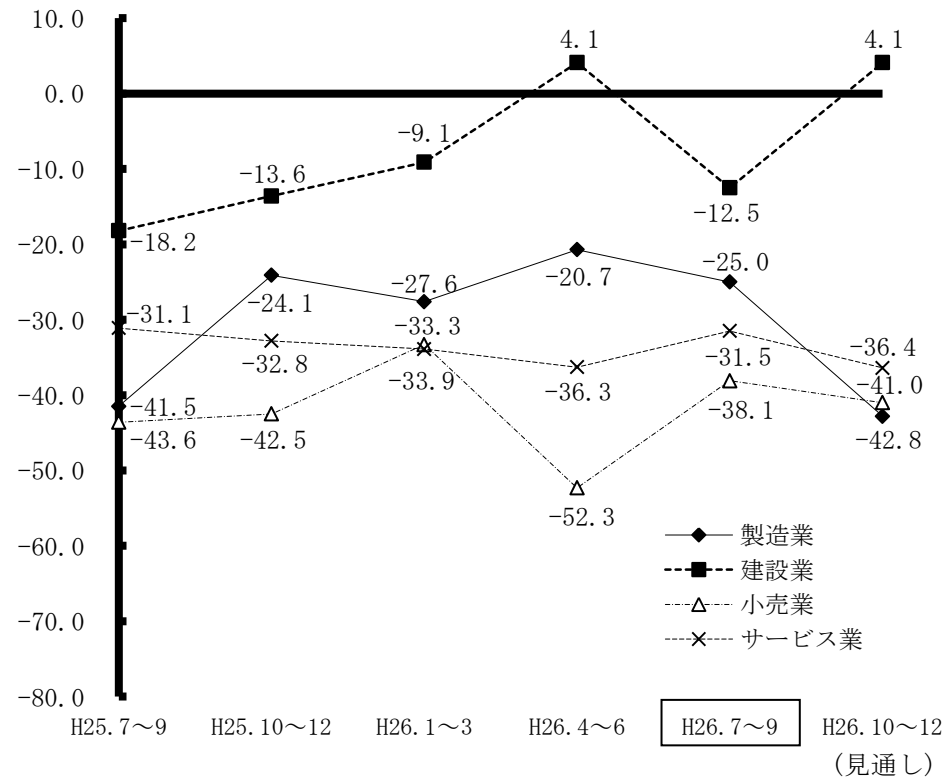
小売業の利益率が改善、建設業は悪化。

今期は、小売業で、14.2ポイント改善し△38.1となったほか、サービス業でも、4.8ポイント上昇の△31.5と改善に転じました。

一方、建設業においては、16.6ポイントの大幅な減少、製造業においても4.3ポイント減少と小幅ながら、悪化しました。

来期は、建設業においては、大幅な改善を見込んでおりますが、製造業では、17.8ポイント減少の△42.8と大幅に悪化する見通しです。

※採算は各業種とも経常利益



全産業の推移

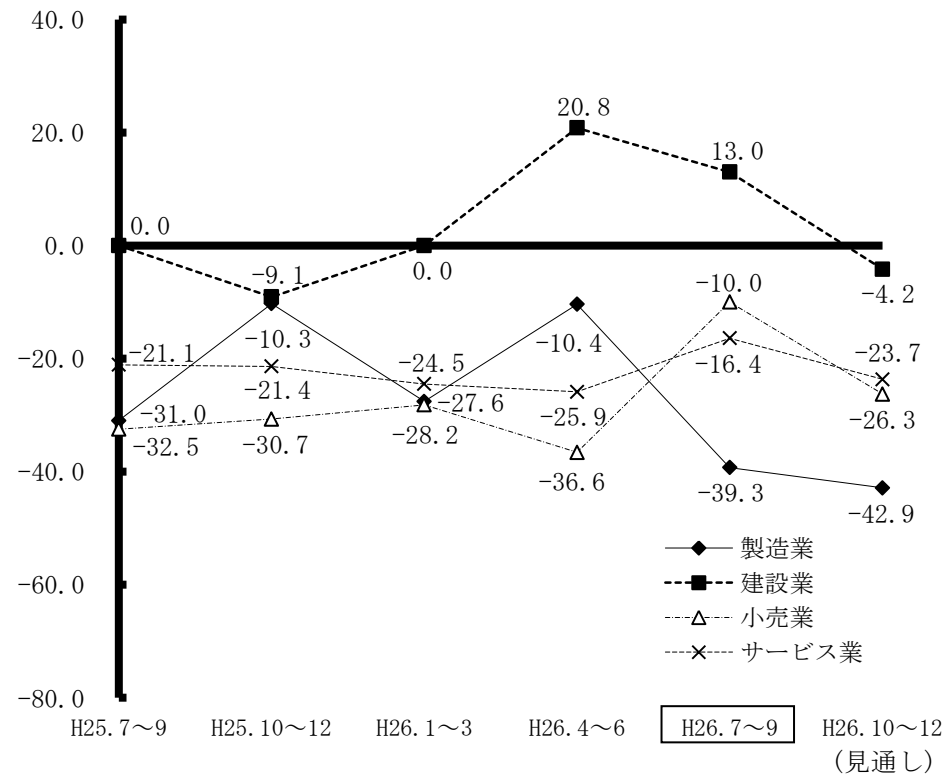
資金繰り

小売業の資金繰りは改善、製造業は悪化

今期は、小売業において、26.6ポイント上昇し、△10.0と大幅な改善となり、サービス業においても、9.5ポイント回復しました。

しかし、製造業においては、28.9ポイントの減少と急激に悪化しました。

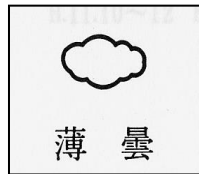
来期は、すべての業種で、悪化する見通しとなっており、特に建設業においては、15.2ポイントと急激に悪化する見通しとなっています。



製造業の推移

売上高

<今 期>

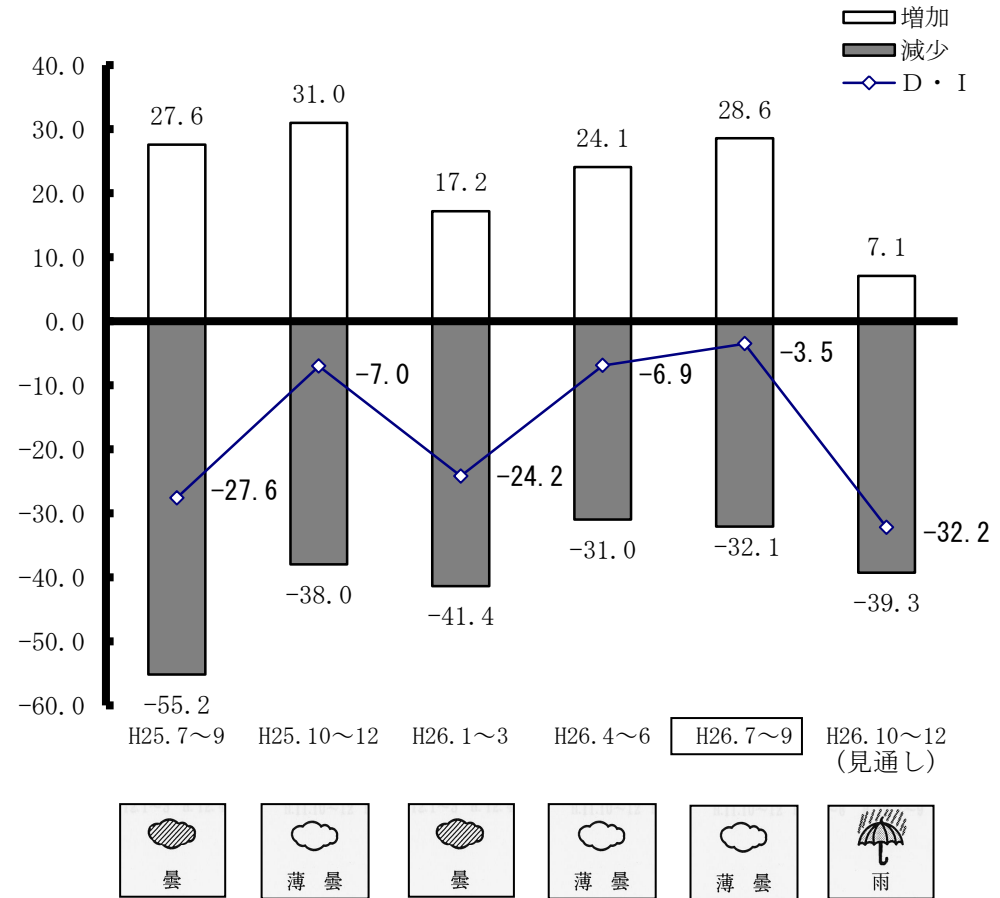


<来期見通し>



今期は、売上の増加した企業が増加したことから、売上高D・Iは3.4ポイント増加の△3.5と、改善しました。

来期は、売上高の増加を予想する企業が大幅に減少し、売上の減少を予想する企業が増加するため、売上高D・Iは△32.2と大幅に落ち込む見通しです。



採算

<今 期>

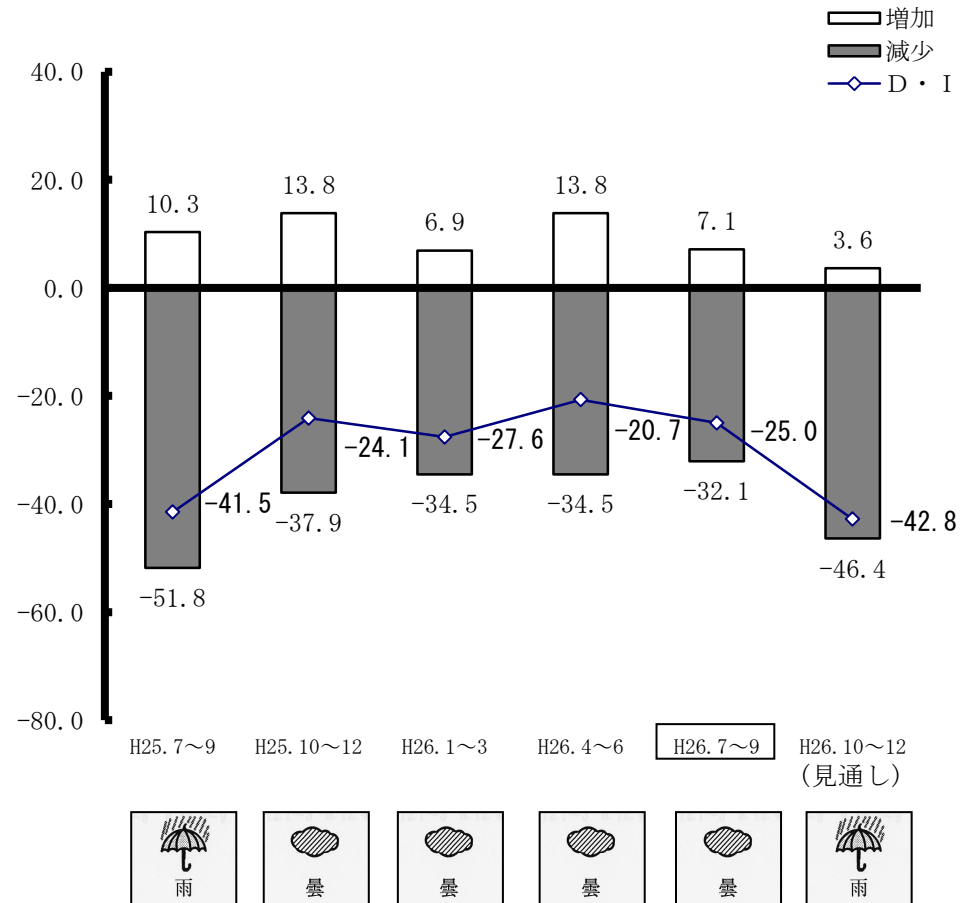


<来期見通し>



今期は、採算が改善した企業の割合が減少したことから、採算D・Iは4.3ポイント減少の△25.0と悪化しました。

来期の採算D・Iは、採算の悪化を予想する企業が増加し、採算が改善すると挙げた企業も減少したことから、17.8ポイント減少の△42.8と大幅に悪化する見通しです。

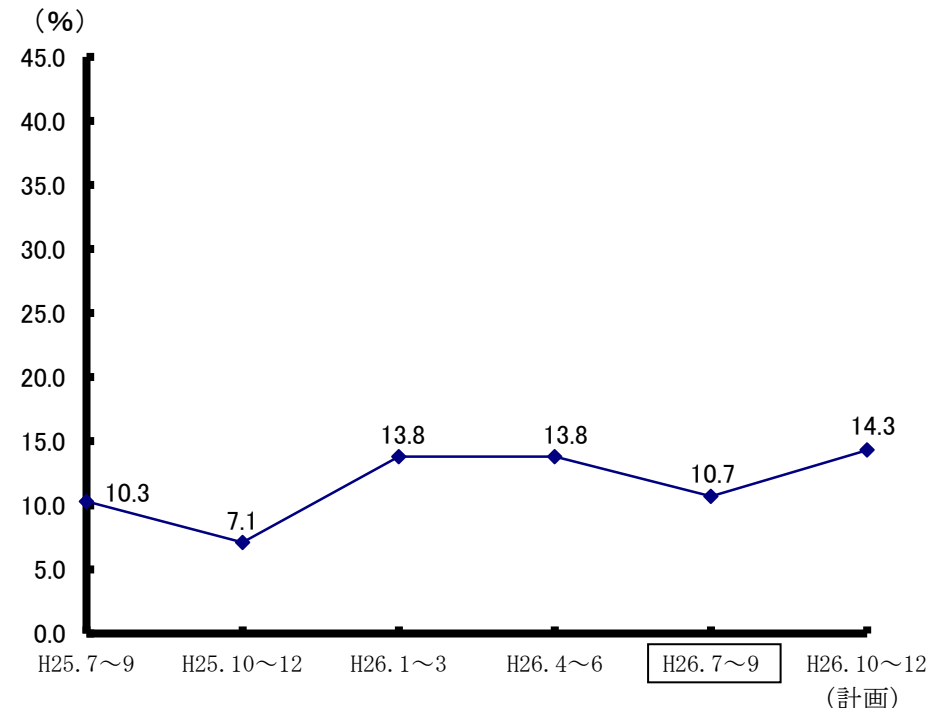


設備投資

今期は、設備投資を行う企業はやや減少し、10.7となりました。売上や採算の悪化が設備投資の減少に影響したと思われます。

来期は、業績の改善から設備投資を計画している企業の割合が増加しています。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。



経営上の問題点

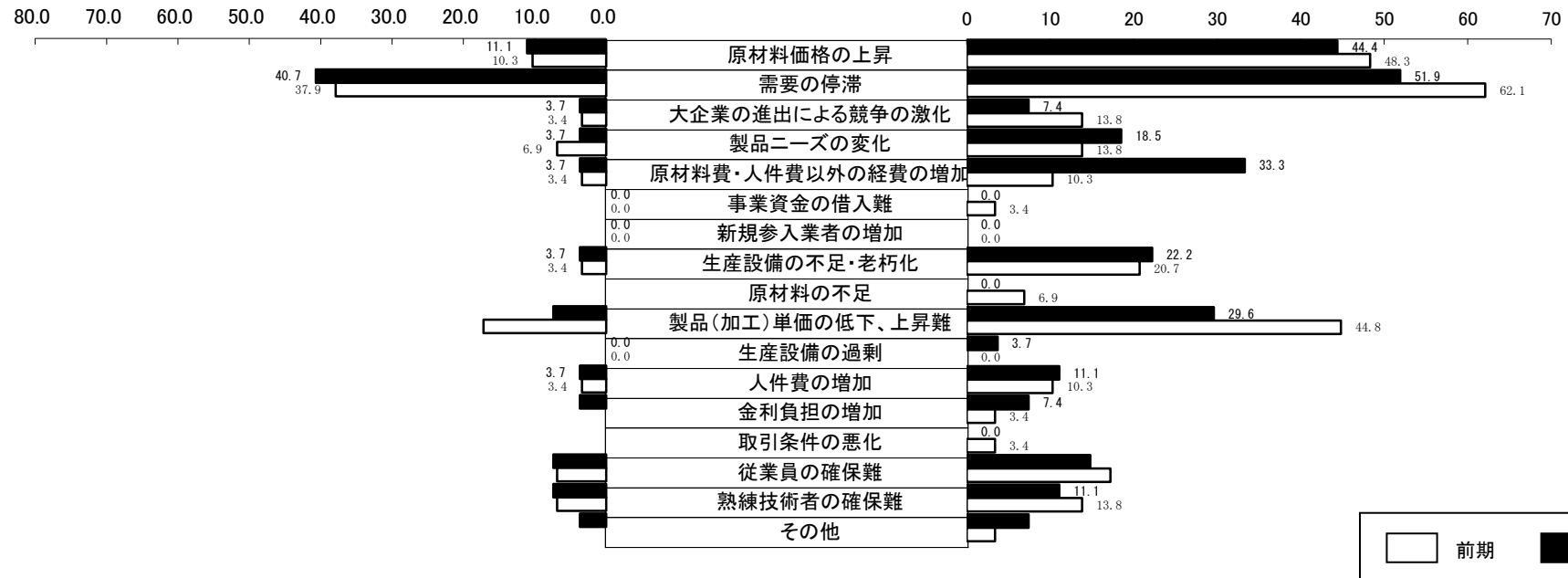
岩手県 製造業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)

1位の問題点

1位~3位の問題点

(目盛: %)



建設業の推移

売上高

<今 期>

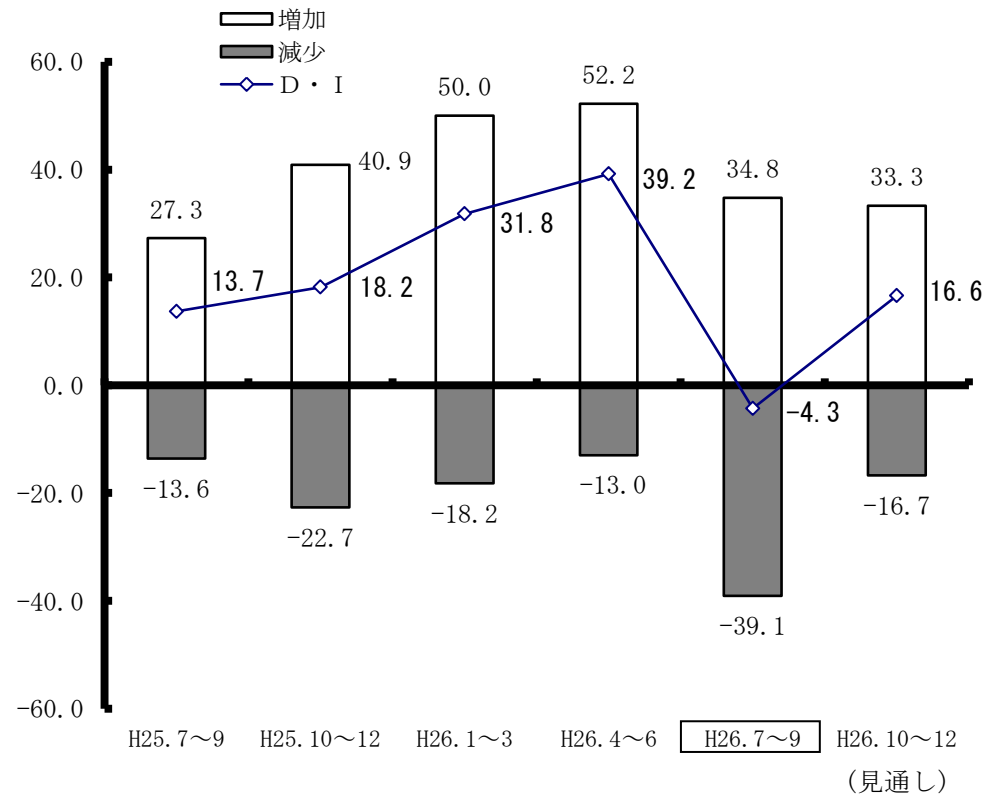


<来期見通し>



今期は、売上高の減少を挙げた企業の割合が増加し、売上の増加を挙げた企業の割合が減ったことから、売上高 D・I は 43.5 ポイントマイナスの $\Delta 4.3$ まで大幅に減少し、天気図は薄曇まで悪化しました。

来期は、公共事業の繁忙期にあり、一転して 16.6 まで回復し、予想天気図は晴となる見通しです。



※建設業の売上高は完成工事高

建設業の推移

採算

<今 期>

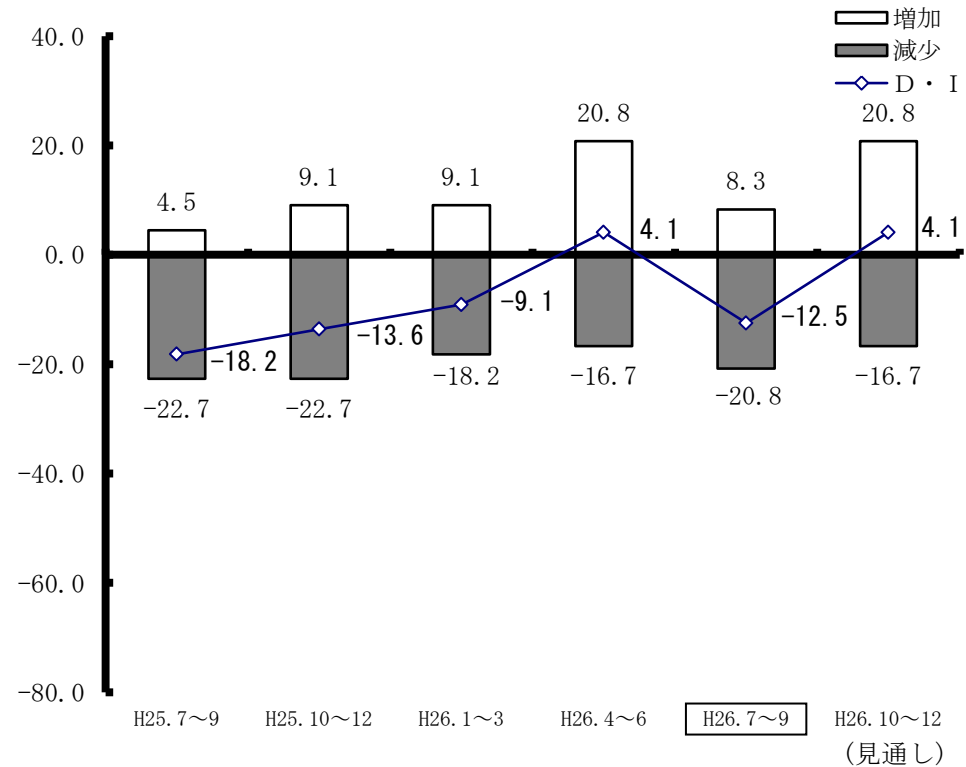


<来期見通し>



今期の採算D・Iは、採算好転を挙げた企業は大幅に減少し、採算が悪化した企業が増加したため、16.6ポイント減少の△12.5と悪化し、天気図は曇となりました。

来期は、採算の好転を予想する企業が大幅に増加することから、採算D・Iは、4.1まで回復する見通しです。

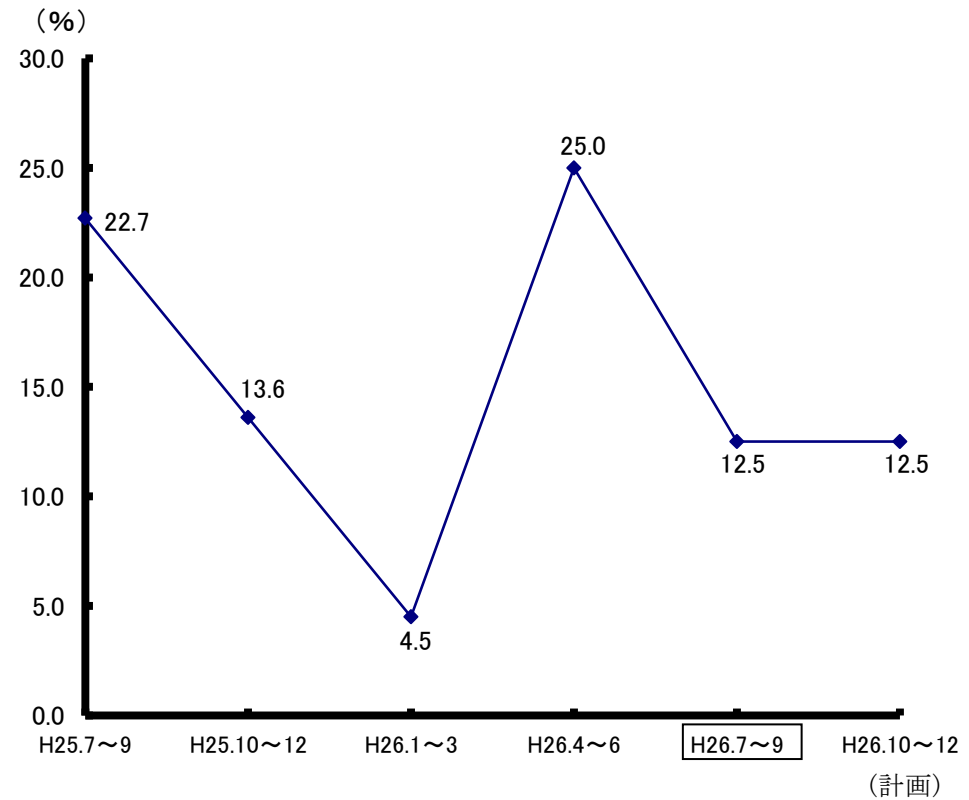


設備投資

前期見通しのとおり、設備投資を実施する企業は一転して12.5まで減少しました。

来期は、設備投資を予定する企業が当期と変わらず、一定の水準で推移する見通しです。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

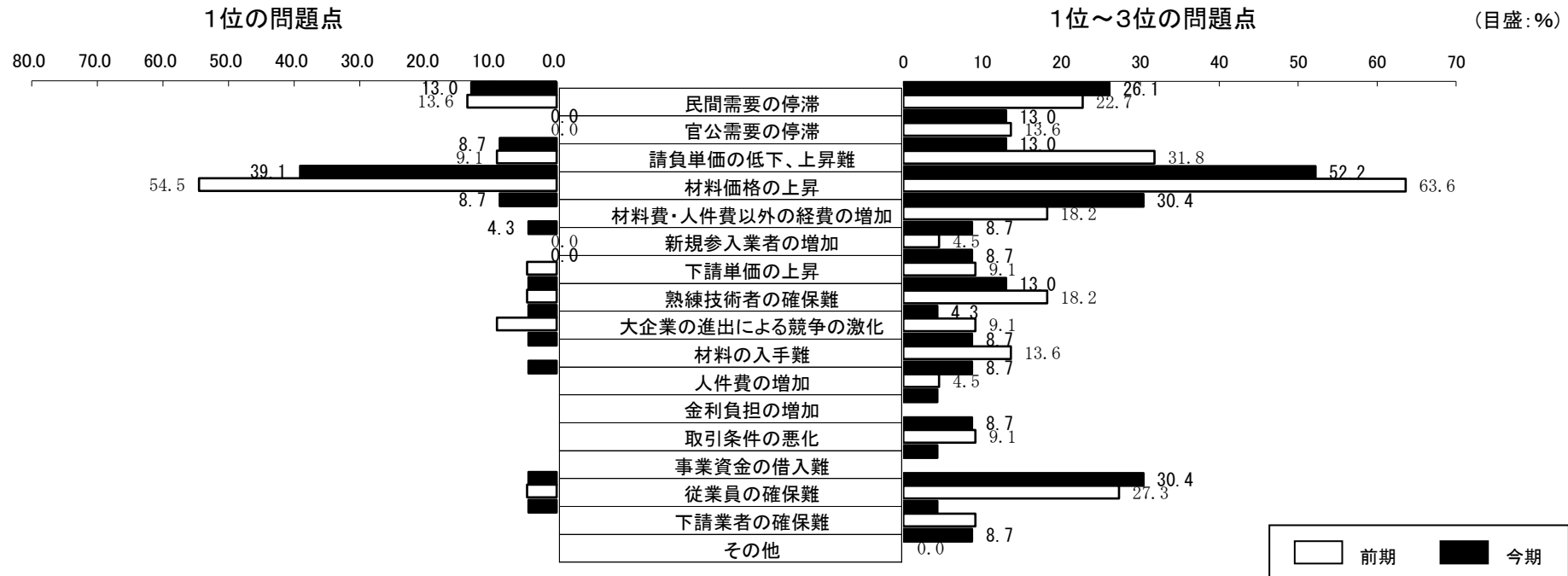


建設業の推移

経営上の問題点

岩手県 建設業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)



小売業の推移

売上高

<今 期>

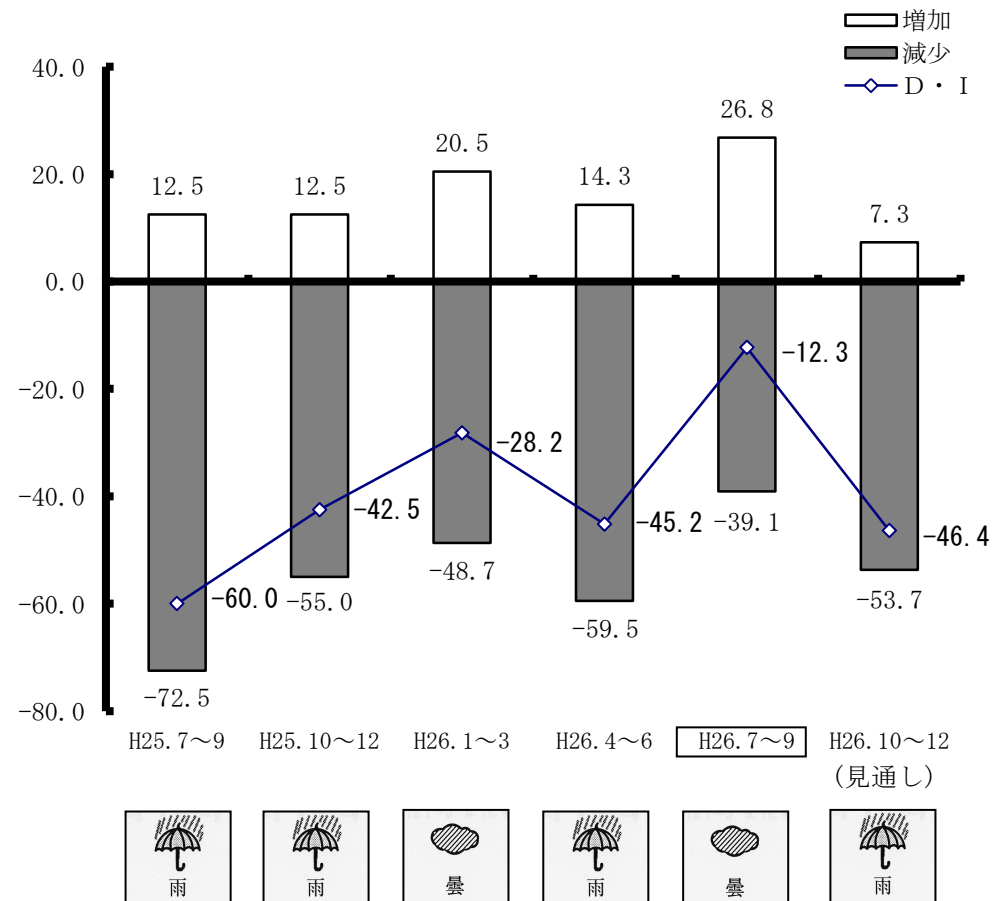


<来期見通し>



売上高増加企業が増加し、売上高減少企業も減少したことから、売上高D・Iは32.9ポイント回復し、△12.3となり、天気図は曇となりました。

来期は、売上高増加を予想する企業が減少するため、売上高D・Iは、34.1ポイント減少の△46.4と大幅に悪化する見通しです。



小 売 業 の 推 移

採 算

<今 期>

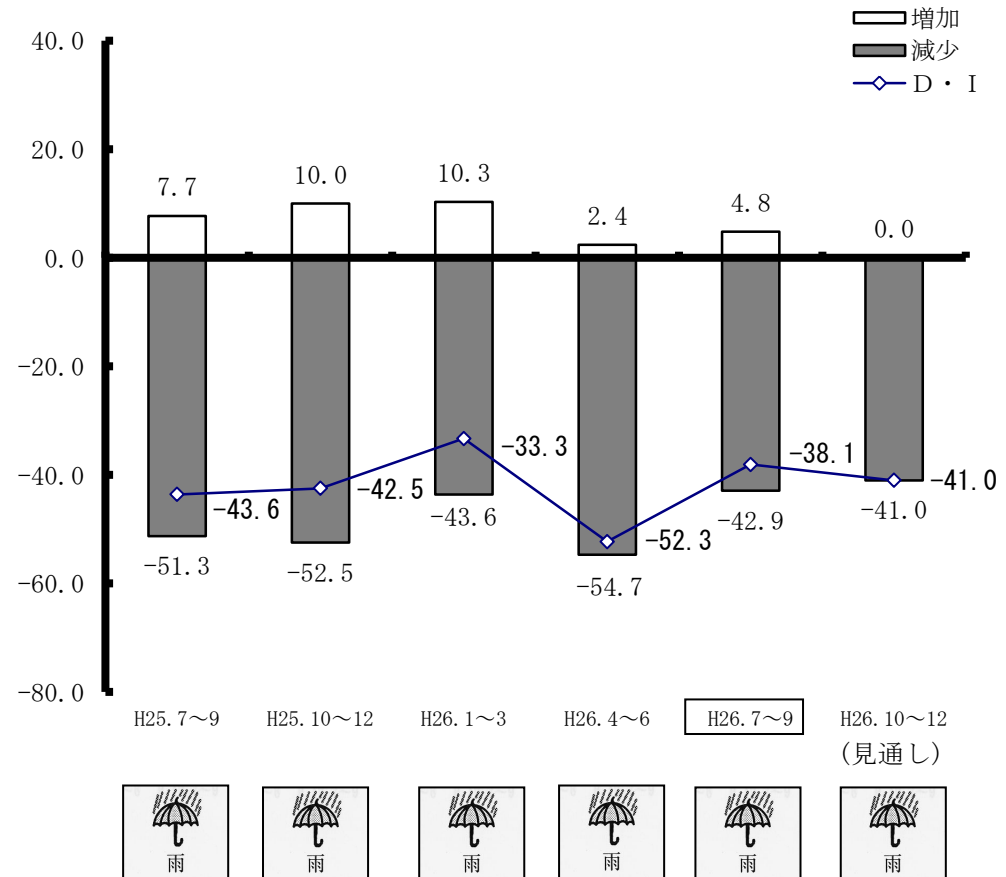


<来期見通し>



今期は、採算が悪化した企業が減少したため、採算D・Iは14.2ポイント改善し、△38.1に回復しました。これは、売上の増加が採算の回復に繋がったと思われます。

来期は、採算の悪化を予想する企業の割合がやや増加し、△41.0と依然として大変厳しい見通しとなっています。

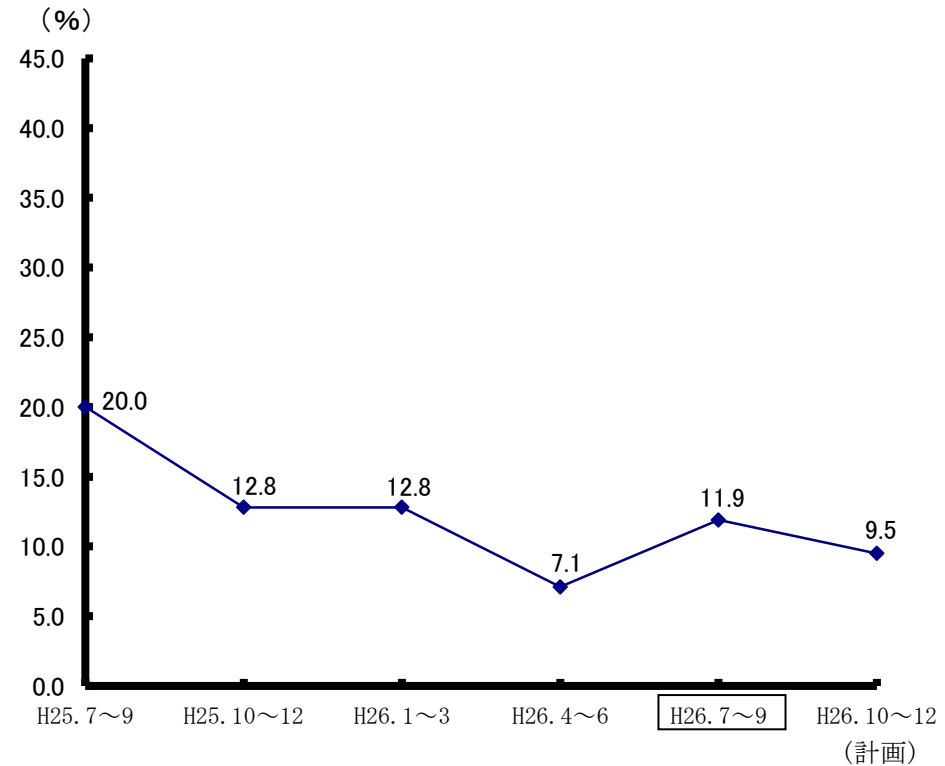


設備投資

今期に、設備投資を実施した企業は、11.9まで増加し、4.8ポイント改善しました。

来期は、設備投資を計画している企業が2.4ポイント減少し、9.5と低水準で推移すると見込んでいます。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

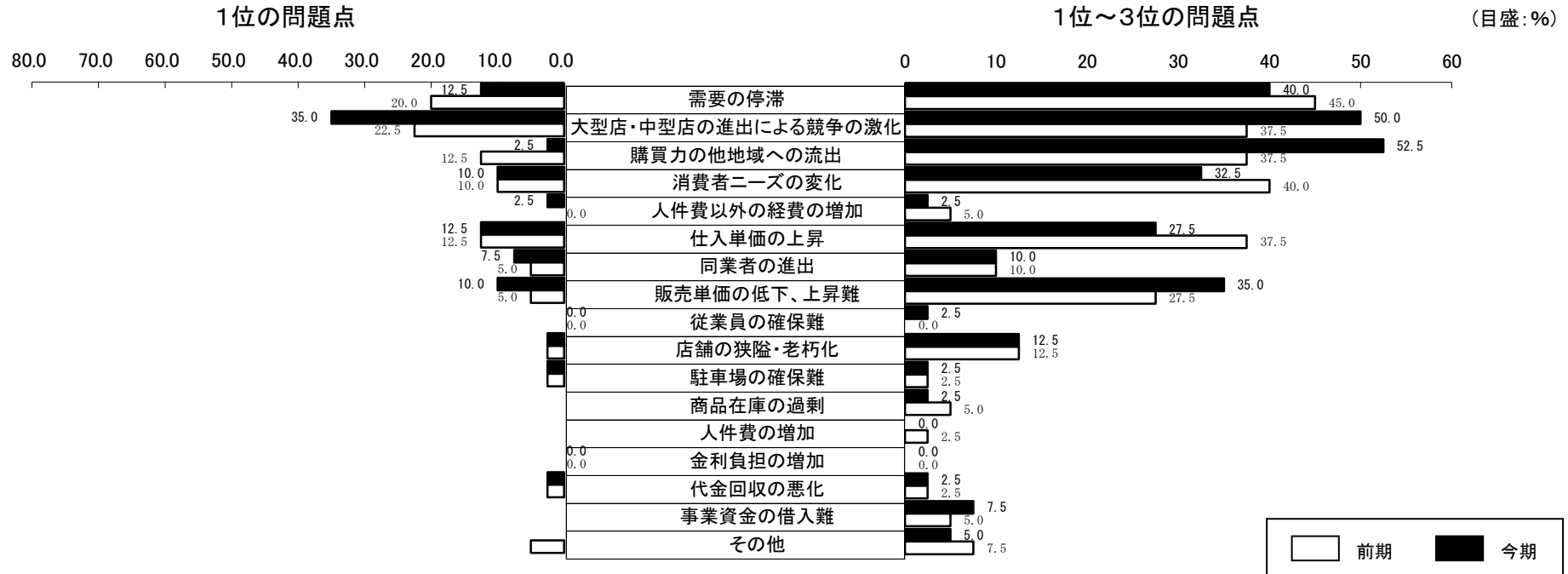


小売業の推移

経営上の問題点

岩手県 小売業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)



サービス業の推移

売上高

<今 期>



曇

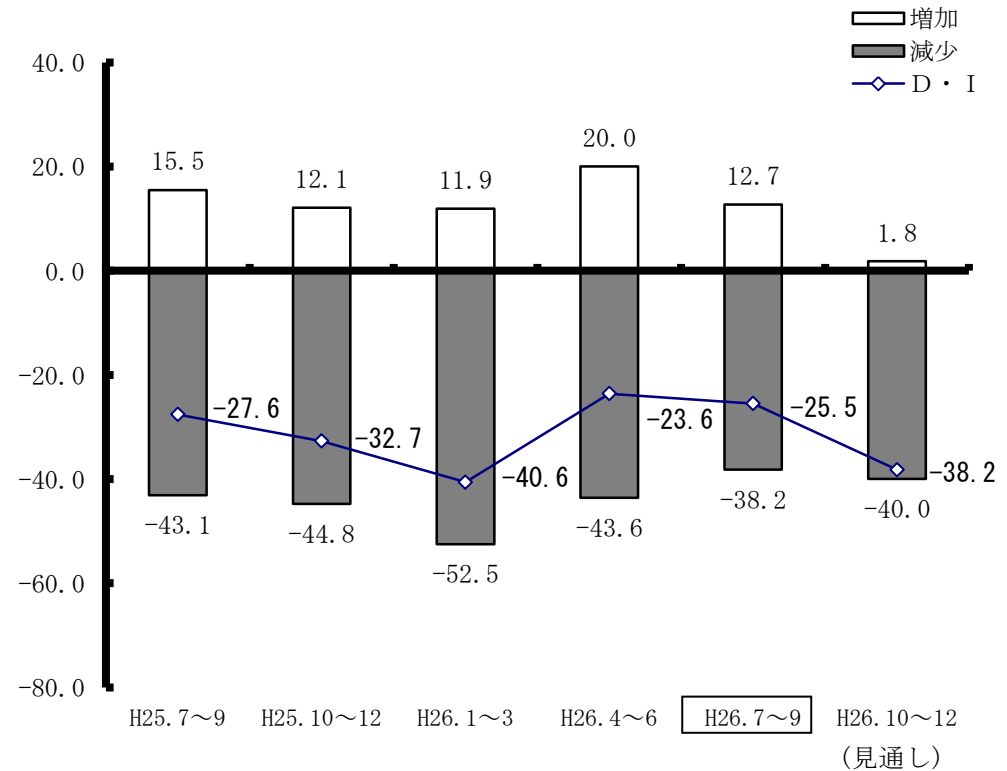
<来期見通し>



雨

今期は、売上高増加企業が減少したため、売上高D・Iは、1.9ポイント減少し、△25.5に悪化しました。

来期は、売上高増加を予想する企業が減少することから、売上高D・Iは△38.2に大幅に悪化すると見込んでおります。



曇



雨



雨



曇



曇



雨

サービス業の推移

採算

<今 期>

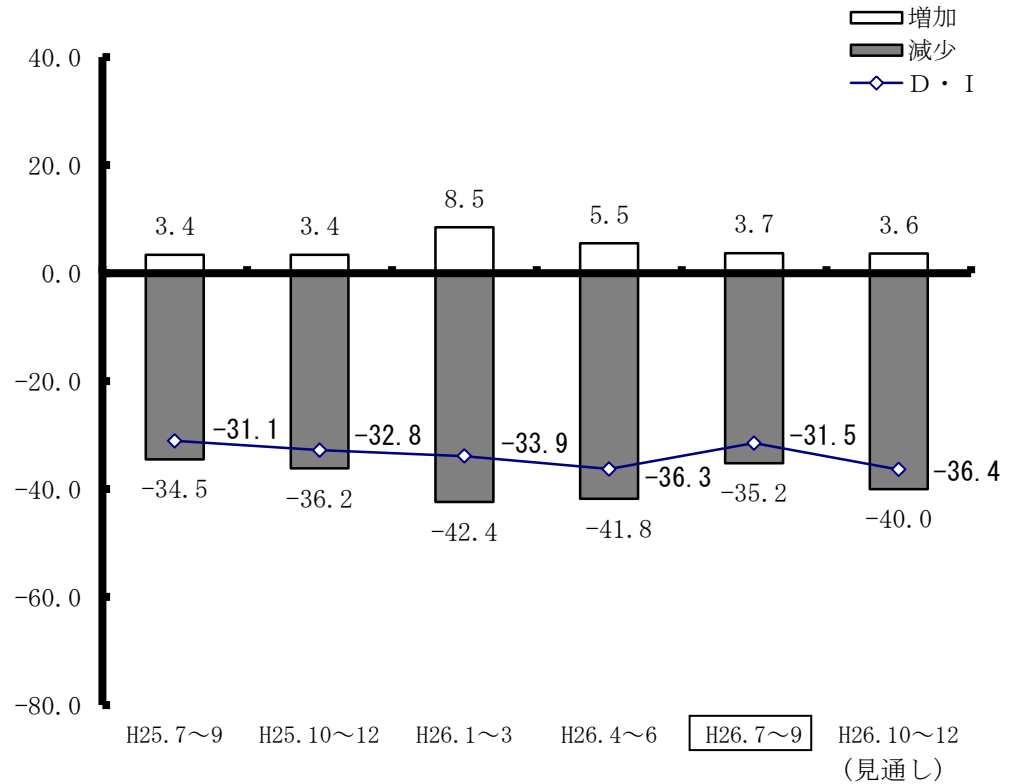


<来期見通し>



今期は、採算増加企業数が減少したものの、採算が悪化した企業も減少したことから、採算D・Iは僅かながら4期ぶりに回復しました。

来期は、採算の悪化を予想する企業は増加し、D・I値は再び悪化に転ずると見込んでいます。



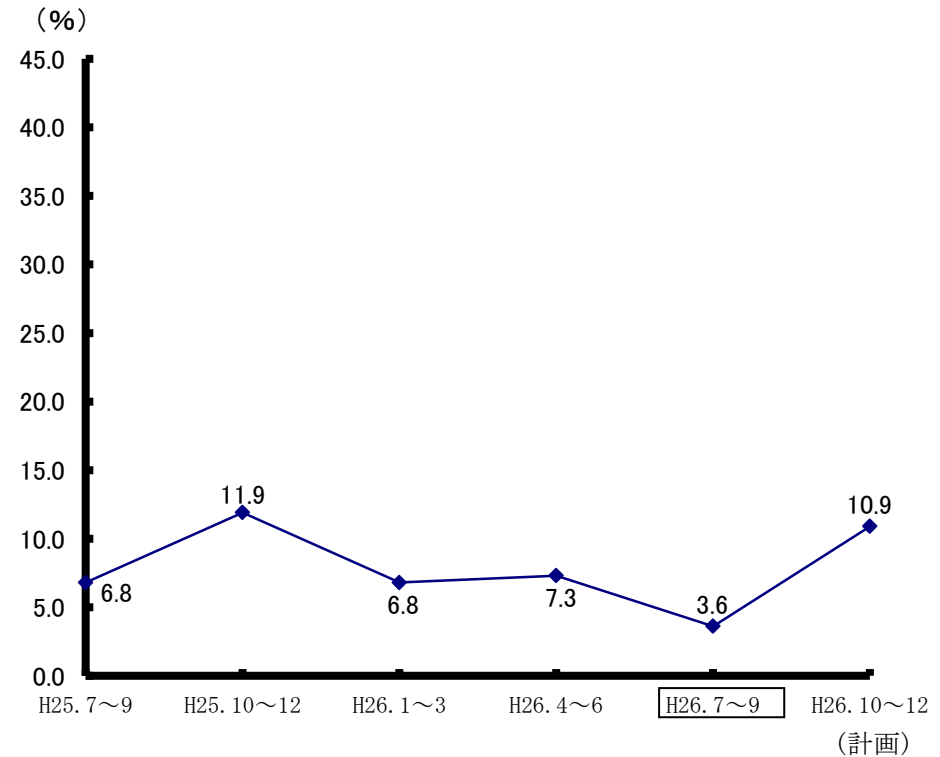
設備投資

今期は、設備投資を実施した企業は3.7ポイント減少の3.6と低水準で推移しました。

これは、売上が低水準のため、設備投資を見合わせているものと思われます。

来期は、10.9と大幅に回復する見通しです。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。



サービス業の推移

経営上の問題点

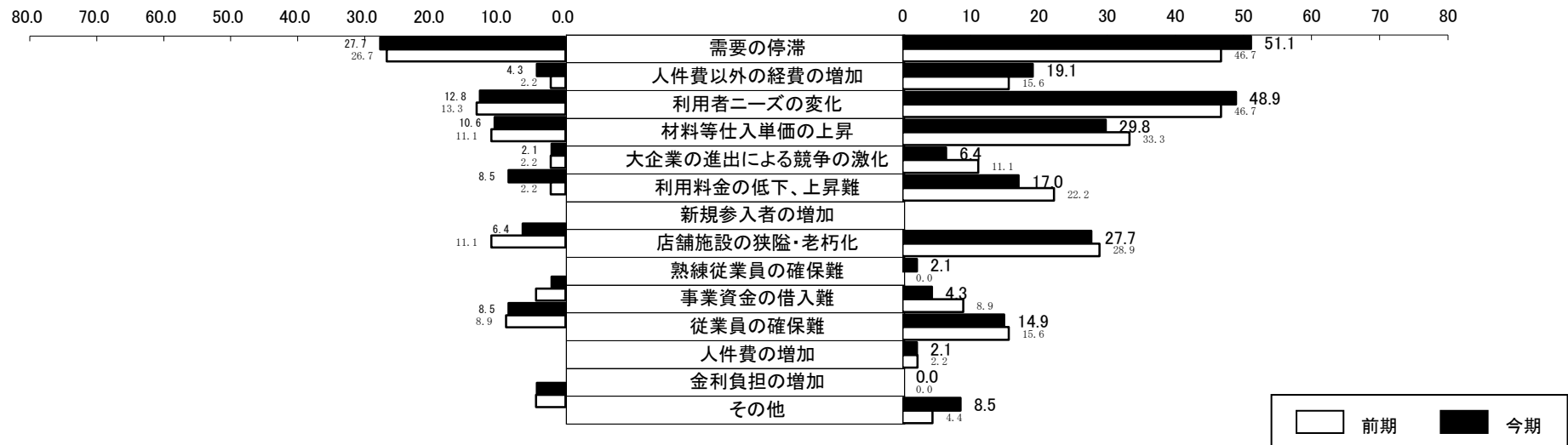
岩手県 サービス業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)

1位の問題点

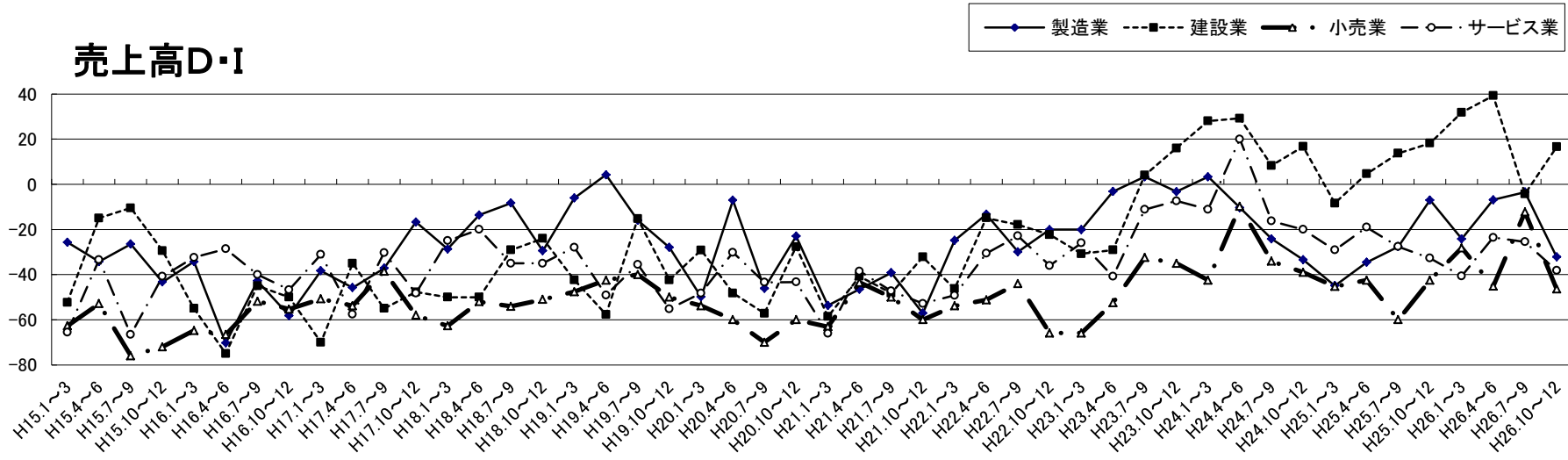
1位~3位の問題点

(目盛:%)

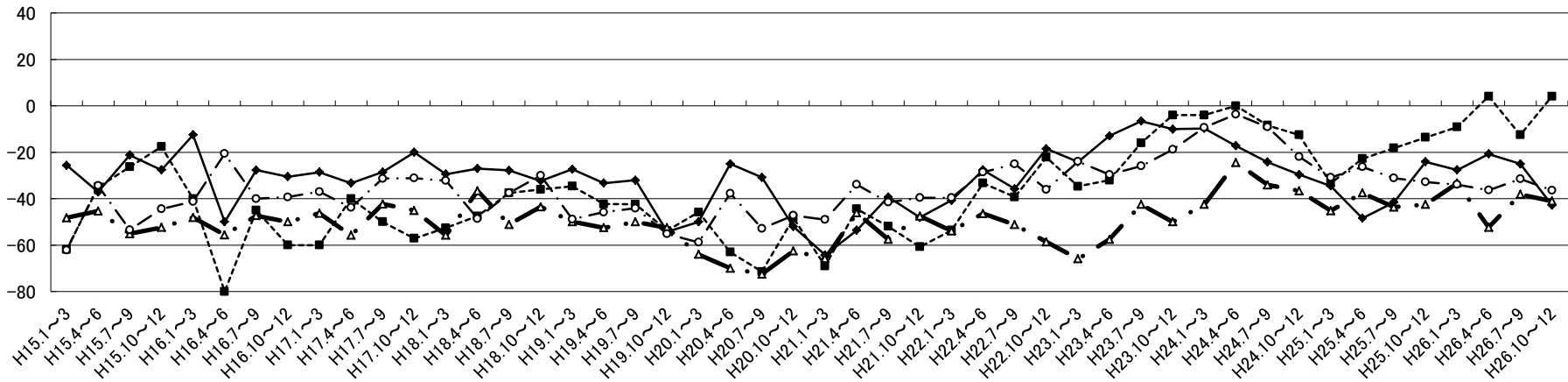


全産業の過去データの推移(平成15年1月以降)

売上高D・I



採算D・I



集 計 資 料

調 査 要 項

1. 調 査 対 象 (1) 対象地区 県内10商工会地区 遠野、陸前高田、二戸市、雫石、葛巻町
(商工会名) 紫波町、金ヶ崎町、岩泉、軽米町、洋野町
- (2) 対象企業数 150 企業
- (3) 回答企業数 149 企業
2. 調 査 対 象 期 間 平成26年7月～9月を対象とし、調査時点は平成26年9月1日としました。
3. 調 査 方 法 (1) 商工会の経営指導員が訪問面接し、聞き取りにより行いました。
(2) 調査対象地区の設定は、商工会地区市町村人口規模別の実態を勘案して行い、調査対象事業の抽出は、業種規模等有意選出により行いました。

4. 対象企業等内訳

業種	項目	対 象 企 業 数	回 答 企 業 数	回 答 率 (%)
製造業 (地域産業)		29 (19.3)	28 (18.8)	96.6
建 設 業		24 (16.0)	24 (16.1)	100.0
小 売 業		42 (28.0)	42 (28.2)	100.0
サ ー ビ ス 業		55 (36.7)	55 (36.9)	100.0
		150 (100.0)	149 (100.0)	99.3

(注) カッコ内の数字は、構成比 (%) を表す。

5. そ の 他 本報告書中のD・Iとは、ディフュージョン・インデックス (景気動向指数) の略で、各調査項目についての増加 (上昇、好転、長期化) 企業割合と減少 (低下、悪化、短期化) 企業割合の差を示すものであります。